

国際事業戦略 グローバル経営の推進

2023年5月19日

常務取締役 国際事業部長

山崎 剛司



目次

1 2022年度総括・2023年度市場展望

2 国際事業部実績および予想（連結）

3 2023年度事業戦略

2022年度総括・2023年度市場展望

2022年 コロナ影響は続き

- 医療費抑制の圧力
- 政府からの支払い遅延
- 物価の上昇
- 運賃の超高騰
- 地政学リスク（ロシア・ウクライナ等）

- コロナと共存
- 地政学リスク（ロシア・ウクライナ等）
- 自国主義の台頭
- 超インフレ時代
- 運賃は下降傾向
- 原材料・エネルギーコストの上昇

2023年 選ばれる企業へ

国際事業部 実績・予想（連結）

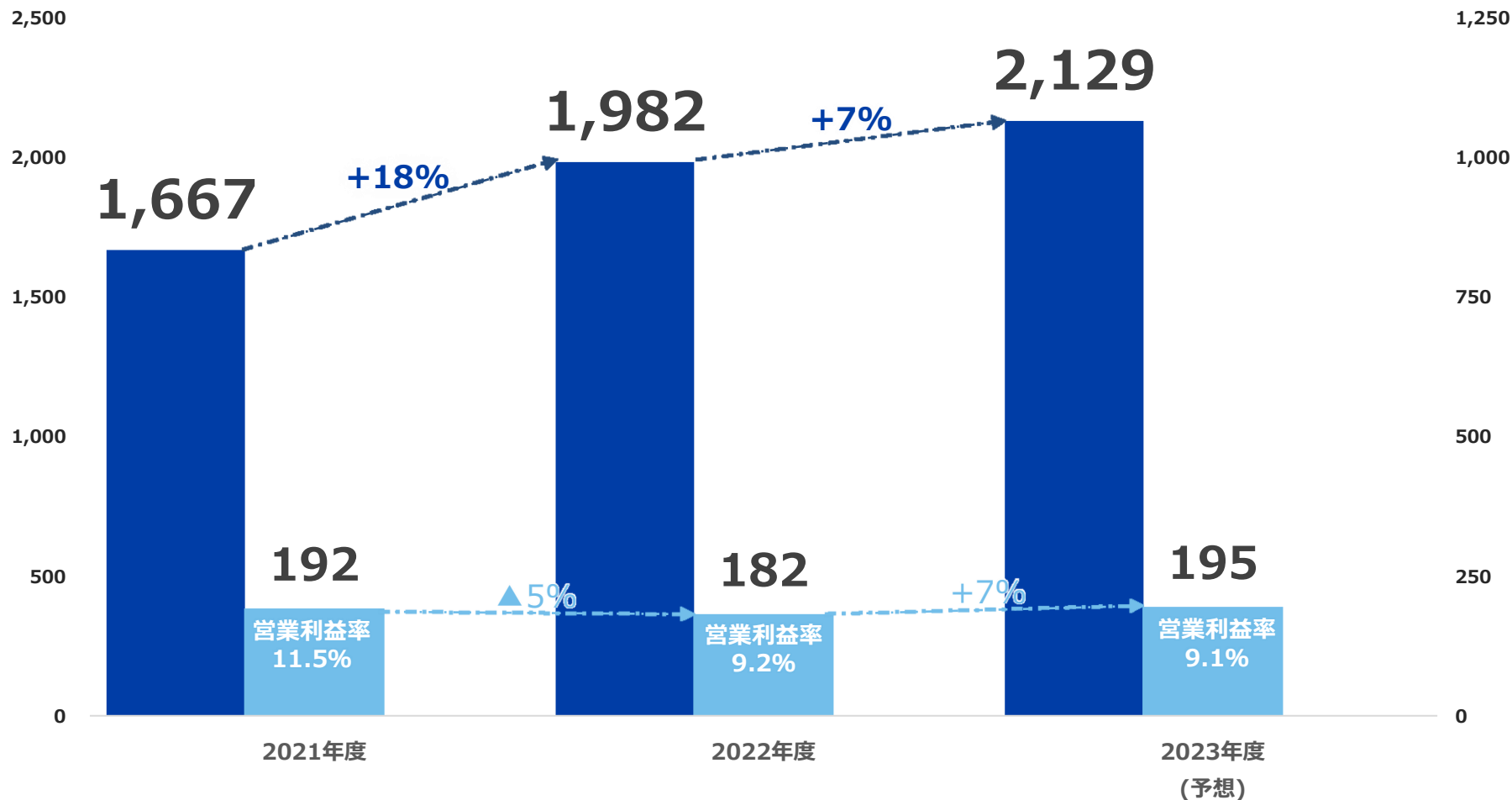
※国際事業部管轄のみ

売上高
(単位：億円)

■ 売上高

■ 営業利益

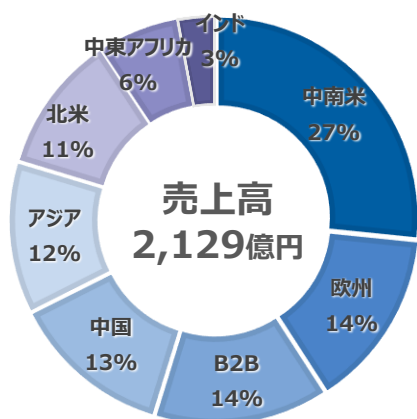
営業利益
(単位：億円)



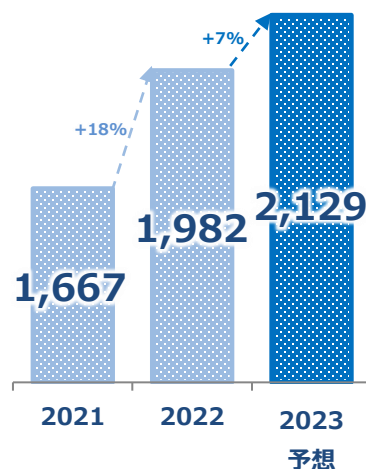
国際事業部 -地域別 売上推移-

※国際事業部管轄のみ

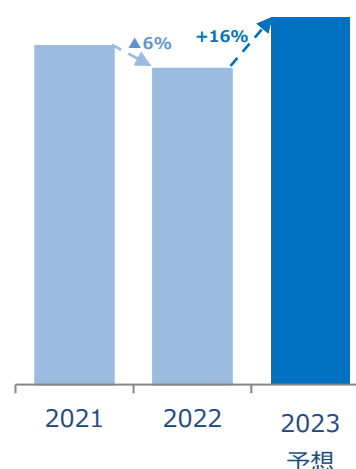
2023年 連結売上構成



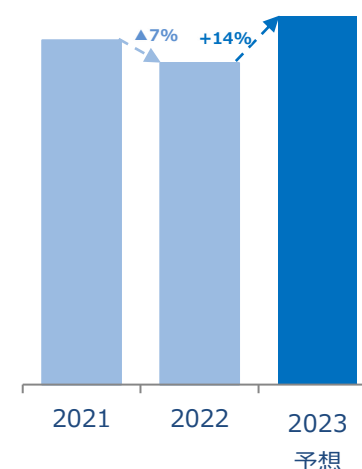
連結(億円)



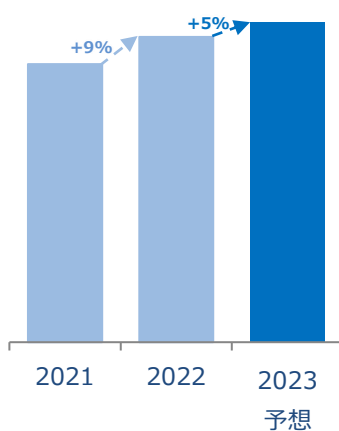
中南米(百万USドル)



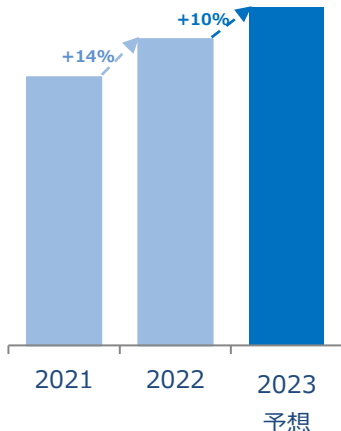
欧州(百万ユーロ)



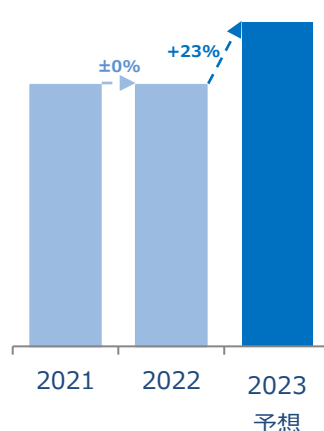
BtoB(億円)



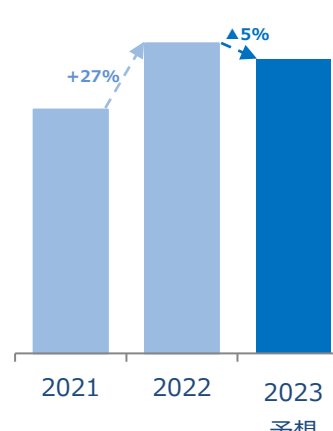
中国(百万元)



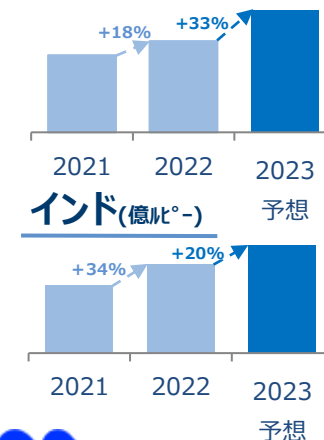
アジア・シフィク(百万USドル)



北米(百万USドル)



中東・アフリカ(百万ユーロ)

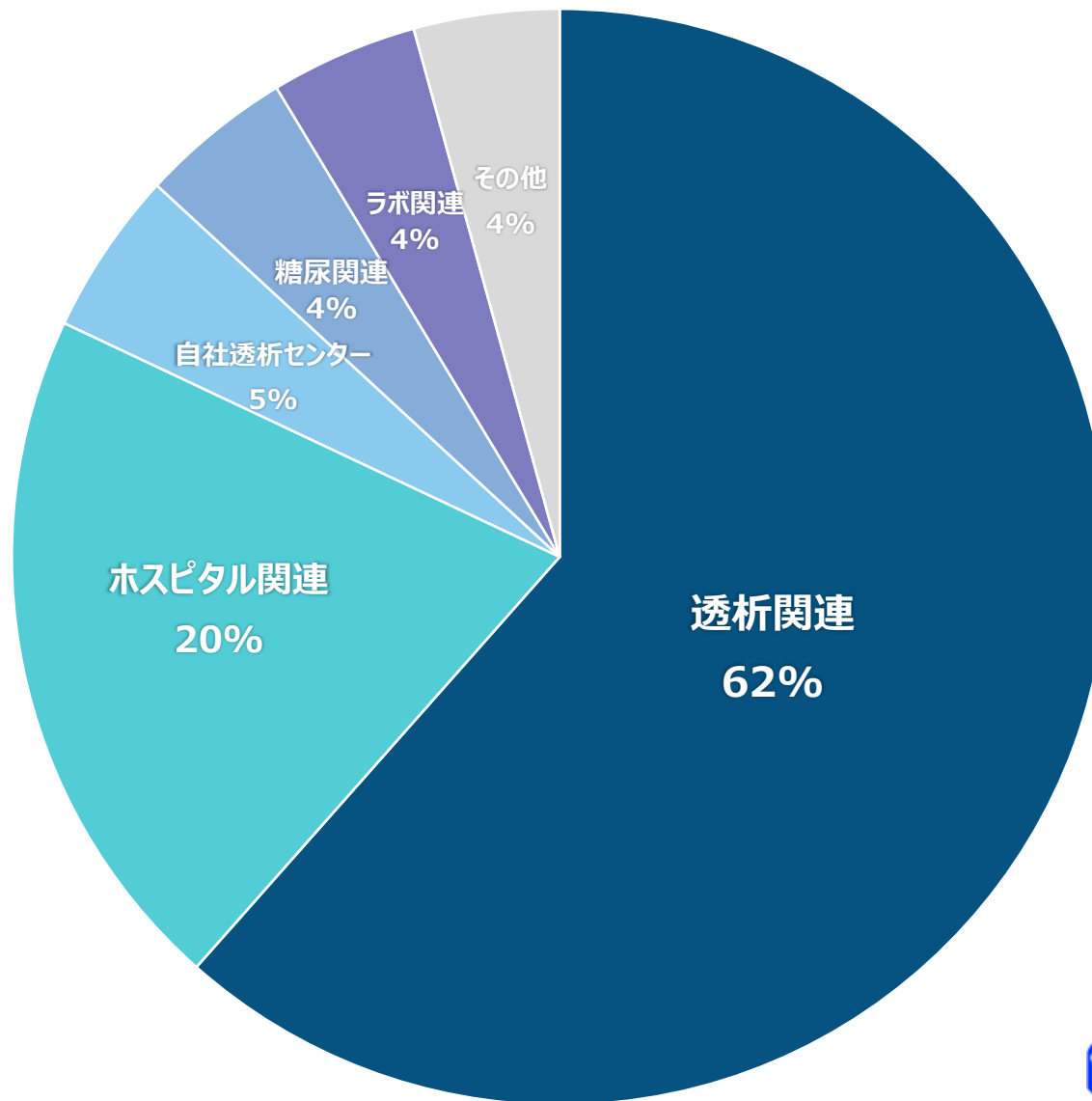


インド(億ルピー)



国際事業部 商品構成 - 2022年度売上実績 (連結) -

※国際事業部管轄のみ



2023年度事業戦略

深化

付加価値向上

- 基礎商品
- 透析商品
- 自社透析センター
- 学術営業
- 物流最適化
- 利益率の向上

強化

成長加速

- バスキュラー商品
- ホスピタル・感染対策商品
- 販売拠点
- 在庫と回収
- SDGs

変化

ポストコロナへの適応

- 利益&キャッシュ強化
- デジタル化推進
- コンプライアンス強化
- オーナーシップとチャレンジ
- 柔軟かつスピーディーな対応
- 組織の横断的な連携強化

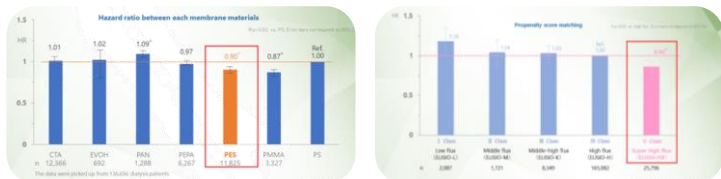
透析関連事業

- 新ダイライザのエビデンスを元に学術営業を展開

ELISIO-HXは世界で唯一 PES膜によるSuper High Flux

日本透析医学会から新エビデンス

- I. PES膜はPSと比較し死亡リスク**10%**低減
- II. Super High FluxはHigh Fluxと比較し死亡リスク**14%**低減



世界的KOLよりELISIO-HX学術エビデンスを発信



- 世界最強のCTA膜の販売促進
- ダイライザ シングルユースの促進



ホスピタル関連事業

次世代安全針の上市



次世代安全留置針開発
+STプラグ拡販



注射

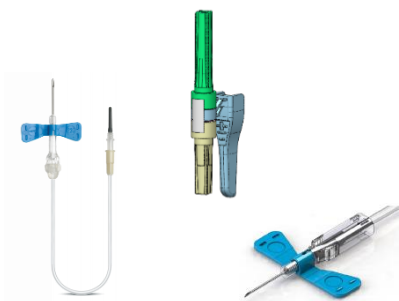
輸液

高付加価値
商品の充実

採血

疼痛緩和
抗癌剤投与

次世代安全採血針開発



シユアフューザー関連商品の拡充

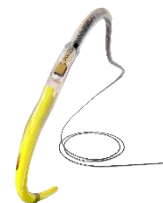


バスキュラー事業

診断

イメージング

末梢領域も開始、冠動脈と両軸展開



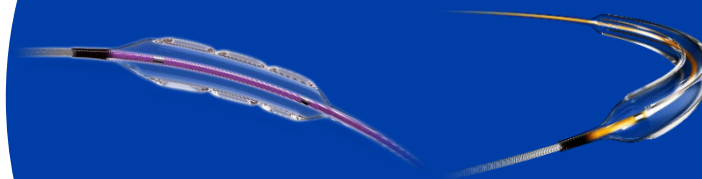
心臓

末梢

治療

スコアリングバルーン

次世代品投入、シェアアップ+市場創出



心臓

末梢

感染予防関連事業

CLFine™

Ionless Hypochlorous Acid Water

Pure, Safe, Effective

2021年

商品導入

ヨーロッパで空間噴霧有効性試験実施など

2022年

有効性試験を実施

各国政府、感染症のKOLの活用

セミナーを通じた啓蒙活動

2023年

高濃度品500 ppmの海外希釈

空気除菌・表面除菌対策

20XX年

消毒剤、医薬品として展開



自社透析センター事業拡大



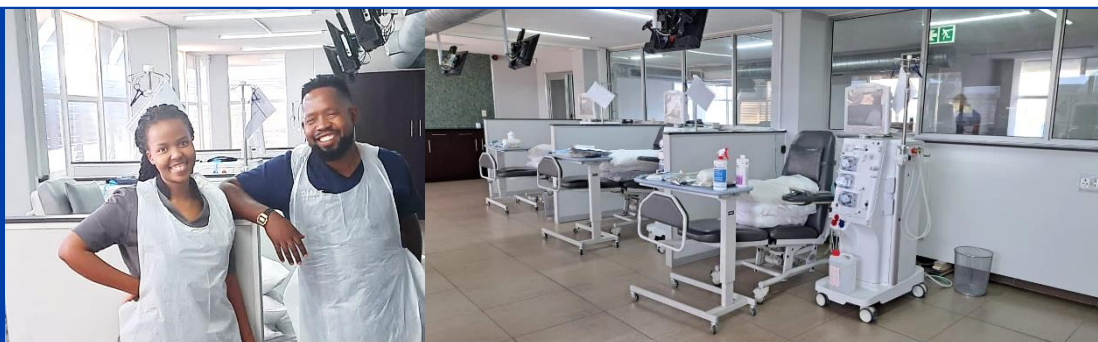
マレーシア
Professional
Dialysis Solution
Centre



中国
遵義徳銘
腎病医院



南アフリカ
DJ Grobler Inc.



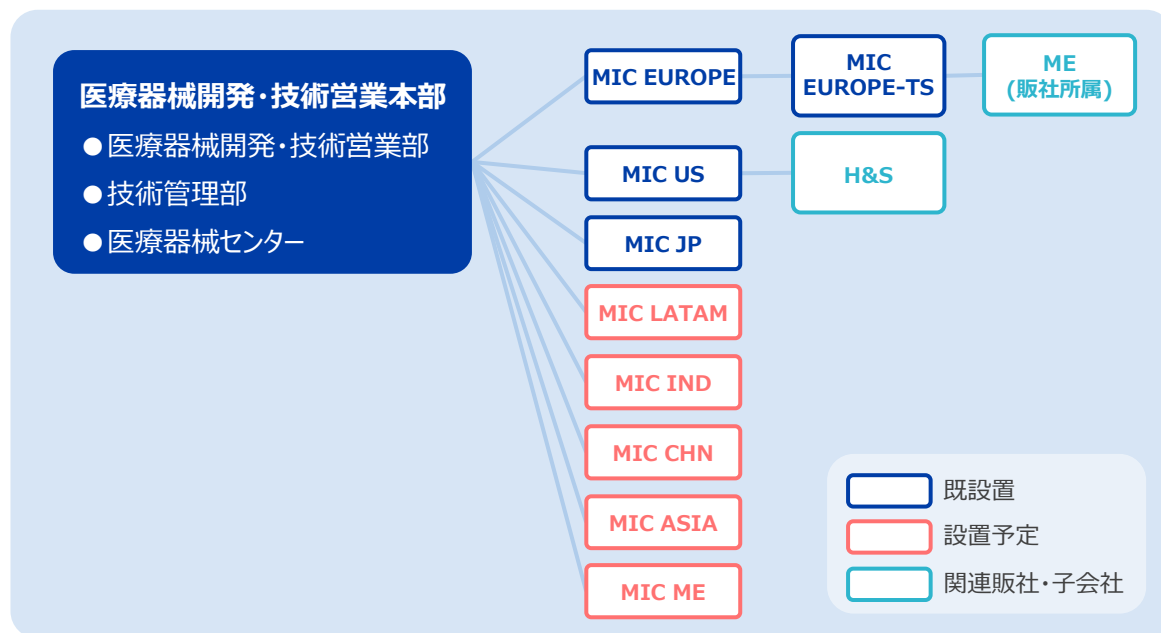
メンテナンス体制の拡充



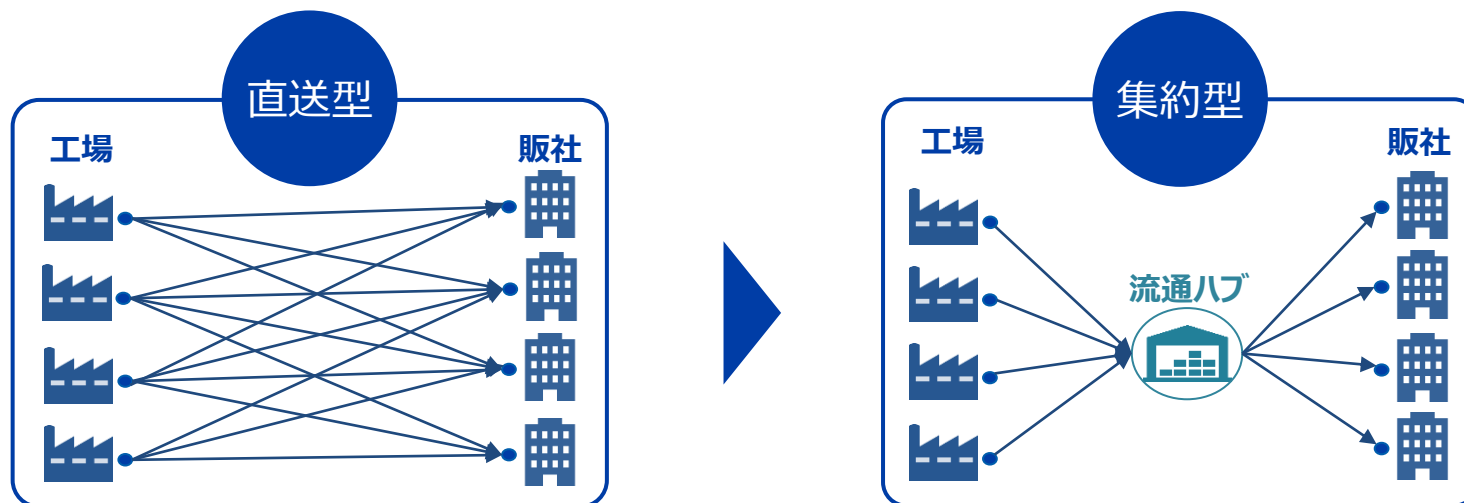
ワンストップソリューションを担う透析装置の安全性と信頼性を確保する

MISSION

- 01 日本発、世界競争力のある器械開発
- 02 地産地消型の推進
- 03 トレーニング・メンテナンスの
グローバル組織の構築
- 04 重要クレーム・開発進捗状況の情報共有
- 05 FDA&MDR等の対応



ロジスティクス強化



- 直送型（受注生産物流）から 集約型（拠点集約型物流）へ **変化**
- 増産計画に沿った効率的な物流網の構築
- 海外ネットワーク拠点活用による顧客納期の安定化

世界の隅々まで効率よく安定供給

SDGs (Sustainable Development Goals)



SDGsへの取り組み

SDGsを全面に出した商品の改良、プロモーションを行う
全17の内下記5つの項目に注力



3

すべての人に
健康と福祉を



商品の安全性

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



省エネ化

9

産業と技術革新の
基盤をつくる



効率化

12

つくる責任
つかう責任



安全対策商品

13

気候変動に
具体的な対策を



環境対策

SDGsに沿った既存の商品・製造工程特徴の啓蒙促進

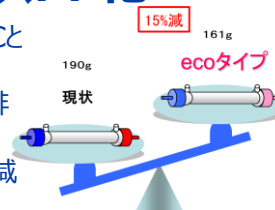
今後の取り組み

ガンマ線滅菌

エネルギー消費はコンベア動作のみ
材質の内部への透過性に優れている
滅菌時の温度上昇が少ない
残留滅菌剤がない

ケースPP化

ダイアライザケースPCと
比較してPPは15%
軽く、輸送時CO2排
出量15%の削減
更に、破損リスク軽減



リサイクル可能材料明示

パッケージに使用されているリサイクル
可能な素材・割合の明示

国際事業部 海外拠点

(2023年3月末現在)

6地域統括会社、57ヶ国に168拠点

